

タイでのSSP99にはスケジュールの都合上2泊3日という最小限の貢献しかできず、チリのSSP00へは参加すらもできなかったのだが、本年ドイツ・ブレーメンでのSSP01では、1週間（正確には8日間）たつぷりと怒涛のようなISUの空気にひたり、そして、ただ波に翻弄されるのではなく、自らも新たな波を起こす役目を果たすことができたかなあという感慨である。ちなみに「波」とは、学生を熱狂させ、エネルギーを消費させ、寝るひまも無く忙しくさせる「企て」のことである。私が滞在した1週間に、実の多くのつわものどもが世界中から参集し、大波小波を持ち込み、そして足早に去っていくのを私は見た。SSPの魔力とは、あらゆる波を許容する寛容な媒質であること。そして、いかなる波をも平気で乗り越える、計り知れない学生のエネルギーなんだろうなと、つくづく思う。

さて、ISUでのロボティクスを取り巻く教育環境は、SSP00よりSpace Resources, Robotics and ManufacturingのDepartmentがなくなってSpace Engineeringに吸収され、SSP01ではDavid Miller氏は参加せず、ロボコンは正規のTheme Day Activityから外され、日曜日に希望者が参加するイベント扱いへと、様変わりしつつある。それでも、ぜひロボコンを盛り上げようというProgram DirectorのRoy Nakagawa氏のプッシュと、JASI関係者のご協力を得て、2001年8月26日(日)に、Japan Day! 2001との共催により、ロボットコンテストを実施するのはこびとなかった。

本年Space EngineeringのCo-chairを務めるJPLのAlberto Behar氏とRoy氏のご尽力により、米国Planetary SocietyとLego companyからの寄付として、Lego Mindstorms Robotics Inventor & Mars Exploration Kitを6セット確保していただいた。また、私も東北大学にて全く同じセットを使って「創造工学研修」という授業をやっているの、手持ちのパーツを持ち込んで不足分を補った。

8月21日(火)：Robotics Theme Dayの正課として、宇宙ロボットに関する半日のパネル討論会を企画し、自らもパネリストとして司会を務める。同パネルの後、日曜日のロボットコンテストについてガイダンスを行う。21日から26日までの正味4日間、他のいろいろなイベントも重なっているから、学生が割くことのできる時間はもっともっと少ないはずだ。

8月22日(水)：親切なTAとともに、火星模擬ランダーと模擬地形を作るためのパーツを買い出しに行く。障害物用の石は、トラムの線路から敷石(パラスタ)を10個ほど拝借させていただいた。午後、コンピュータラボの前で模擬地形を準備していると、ドイツのケーブルTV局3Satの取材を受ける。インタビューに答えた分はカットされてしまったが、私の姿(図1)も含めてISU-SSPの紹介が8月27日にオンエアされた。



図1 3Satオンエア画面に映る筆者

8月25日(土)：Alumni Conference、そして夜はSpace Masquerade。私は午前零時ごろに早々に引き揚げたが、大半の学生はオールナイトだったに違いない。

8月26日(日)：コンテスト当日。この日はJapan Dayも平行して走っている。午後3時過ぎにコンテスト予選(図2)。皆、なかなかの出来である。優秀な4チームには、Japan Dayステージデモへの招待を告げる。午後4:30よりサッカーグラウンドでもう一つのイベントであるロケット打ち上げ。大神君(SSP01、東北大)のチームは卵を割らずに回収に成功(別稿参照)。すごい！午後8:00、Japan Dayステージを使ってロボットコンテストのExhibition Match(図3)。予選を勝ち抜いた4チームに登場願い、それぞれの演技の後に藤森先生(ISU常任講師) Roy氏、松原氏(SSP97、IHI)、そしてPlanetary Societyを代表してRachel Zimmerman氏にコメントを



図2 ロボコン予選風景

いただいた。各ロボットはいずれも、タッチセンサを使って障害となる石を検出してそれを回避し、目標に到達し、光学センサでそれがゴールであることを認識して、ふたたび出発点である着陸船に戻るといって、複雑なタスクにチャレンジした。短期間で開発したとは思えないほどのすばらしい出来栄であった。



図3 JAPAN DAYステージにてExhibition

コンテスト参加者には、日本の品々をプレゼントしたところ、たいへん喜んでいただいた。そして、最後はJapan Day主催のパーティー。松原氏の能謡や水野氏(SSP98、東北大)の空手型演技に、楽しいプレーメンの夜は更けていった。

# まもなくJASI役員選挙ですよ！ JASI活動への協力をお願い

JASI 選挙管理委員会

秋涼爽快の候、JASI会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、JASIの規約に従い、11月にJASI会長および副会長の選挙が行われます。それに先立ち、皆様に選挙投票のご協力をお願いしたいと思います。選挙公示から新執行部スタートまでのスケジュールは以下のようになっております。

○選挙のスケジュール	
11月 5日(月)	会長、副会長の公示
11月 5日(月)～24日(土)	選挙期間
11月26日(月)	会長、副会長の確定
11月26日(月)～30日(金)	執行部各部長の選出(会長による)
12月 1日(土)	新執行部スタート

本選挙はJASIが本格的に活動を始めるための大切な選挙です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 第1回(2001年度)JASI役員選考のための第1回選挙告示

第1回JASI役員を選考を行います。「JASI規程」に基づき下記の通り告示します。

選挙管理部長 大石 麻衣子  
2001年11月1日

### 記

- 選挙管理委員会  
委員長：大石 麻衣子  
副委員長：大貫 美鈴
- 役員任期  
2001年12月1日から2003年11月30日まで(2年間)
- 役員の数  
会長：1名  
副会長：1名
- 選挙日程  
第1回告示  
\*立候補受付開始 2001年11月1日(木)  
(JASIニュースレター及び選挙管理委員会からの電子メールによる告示)  
立候補届出締切 2001年11月8日(木)  
投票期間 2001年11月9日(金)  
2001年11月24日(土)  
開票日 2001年11月25日(日)  
開票結果発表 2001年11月26日(月)  
(JASIニュースレター及び選挙管理委員会からの電子メールによる発表)
- 選挙について  
(1)第1回告示(立候補受付開始)  
当該告示をもって、立候補者の受付を開始致します。会長に立候補される方は、必ず下記の選挙管理委員会事務局まで電子メールまたは葉書にて、氏名、所属、連絡先、ISU卒業年度をご連絡下さい。

<選挙管理委員会事務局 連絡先>  
選挙管理委員会委員長 大石 麻衣子  
〒105-8060 東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル27F  
宇宙開発事業団 国際部 国際課  
電話：03-3438-6242  
電子メール：Mail109@aol.com

- 立候補届出締切、立候補者公示  
立候補者の受付締め切り日の翌日に、立候補者を公示、同時に投票を開始致します。投票が開始されると、自動的にJASI会員メンバーリストのメンバーに投票を呼びかけるメールが送信されます。このメールには「投票のテーマ(JASI役員選挙)」「選択肢(立候補者名)」「投票のURL」が書かれています。

- 投票  
<e-groupによる投票>  
投票が開始されるとJASI会員メンバーリストのメンバーには電子メールにて連絡がされます。選挙期間中に上記メールに記載される投票のURLをクリックすることで、投票のページに行くことができます。その投票のページにおいて、投票を行っていただきます。投票は記名or無記名式です。  
なお、一度投票した後でも、投票が締め切られるまでは、投票ページに行き、最初の投票と同じように投票することにより、投票先を変更することができます。